Panasonic®

取扱説明書

CDサウンドステーション

品　番　**CQ-C1001D**

ご使用の前に、本書の「安全上のご注意」を必ずお読みいただき、安全にお使いください。

保証書別添付

お買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- 保証書は、お買い上げ日･販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

特　長

- ■ CDプレーヤー・FM/AMチューナー、40 W×4 chパワーアンプを搭載
- ■ CD-R/RWディスク対応　※MP3/WMAには対応していません。
- ■ 交通情報などをボタン一つで受信できる、ダイレクトメモリー (D･M) 機能を搭載
- ■ 音質効果が選べるサウンドクオリティー (SQ) 機能を搭載
- ■ システムアップ用端子（AUX-IN）を装備

付属品・添付品の確認

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

■付属品

座付きねじ　M5×8 mm (4)

皿ねじ　M5×8 mm (4)

電源コード

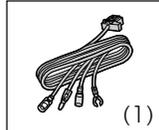
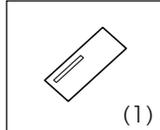
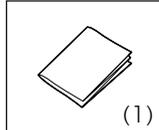
(1)

■添付品

取扱説明書 (本書)

(1)

保証書

(1)

仕　様

■共通

電源電圧	：DC12 V（11 V～16 V） ⊖アース
消費電流	：8.5 A以下 (CD動作定格出力時)
定格出力	：16 W × 4 CH (1 kHz、1 %、4 Ω)
最大出力	：40 W × 4 CH
適合スピーカーインピーダンス	：4～8 Ω
音声入力インピーダンス	：10 kΩ (AUX IN)
音声入力感度	：200 mVrms (AUX IN)
最大入力レベル	：2 Vrms (AUX IN)
外形寸法	：178 × 50 × 155 (㎜) (幅 × 高さ × 奥行き)
質　　量	：1.3 kg

■CDプレーヤー部

周波数特性	：20 Hz～20 kHz
信号対雑音比（SN比）	：96 dB (IHF、A)

■FMチューナー部

受信周波数	：76.0 MHz～89.9 MHz
実用感度 (SN比 30 dB)	：10.2 dBf
SN比 (MONO)	：70 dB
ステレオ分離度	：35 dB
実効選択度 (±400 kHz)	：90 dB

■AMチューナー部

受信周波数	：522 kHz～1629 kHz
実用感度 (SN比 20 dB)	：27 dB/μV

製品仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

使用上のお願い

エンジンをかけてご使用ください。

- エンジンを止めた状態で長時間使用すると、バッテリーが消耗します。

他の機器と接続する場合は…

- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みになり、正しく配線してください。

携帯電話を使用する場合は…

- 携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してご使用ください。

免責事項について

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により損害が生じた場合、原則として有料での修理とさせていただきます。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品に添付の保証書は、当該製品を業務用の車両（バス・タクシー・商用車など）に使用した場合、適用対象にはなりません。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**
（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

配線・取り付けに関するご注意

DC12V⊖アース車で使用する

本機はDC12 V⊖アース車専用です。DC24 V車（大型トラック、寒冷地仕様のディーゼル車など）には使用できません。
火災や故障の原因になります。

指定に従って配線・取り付けをする

説明書に従って正しく配線・取り付けをしないと、火災や事故の原因になります。

配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーの⊖端子をはずす

バッテリーの⊖端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

使用しないコードの先端などは、絶縁する

被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートにより火災や感電の原因になります。

取り付け・配線などに保安部品を絶対に使わない

禁　止

車の保安部品（ステアリング、ブレーキ系統やタンクなど）のボルトやナットを使用すると、制動不能や発火、事故の原因になります。

分解・修理、および改造をしない

分解禁止

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。火災や感電、事故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す

ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故やけがの原因になります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる

車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウインカーなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

⚠ 警告

ご使用に関するご注意

運転者は走行中に操作をしない また、表示を注視しない

禁　止

走行中の操作や表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

禁　止

あやまって、飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

必ず規定容量のヒューズを使用する また、交換は専門技術者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」にご依頼ください。

機器内部に水や異物を入れない

禁　止

内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因になります。

大きな音量で使用しない

禁　止

車外の音が聞こえない状態での運転は、交通事故の原因になります。

故障や異常な状態のまま使用しない

禁　止

万一、故障（表示が出ない、音が出ないなど）や異常（異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がするなど）が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」にご相談ください。
そのまま使用を続けると、火災や感電、事故の原因になります。

⚠ 注意

配線・取り付けに関するご注意

配線・取り付け/取りはずしは、専門技術者に依頼する

配線・取り付け/取りはずしには、専門技術と経験が必要です。
安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

必ず付属品や指定の部品を使用する

指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

コードを破損しない

禁　止

傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱器具へ近づける、車の高温部に接触させるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、事故の原因になることがあります。

- 車体やねじ・可動部（シートレールなど）へ挟み込まないように、引き回してください。
- ドライバーなどの先で押し込まないでください。

⚠ 注意

ご使用に関するご注意

車載用以外には使用しない

禁　止

車載用以外（例えばレジャーボートやアウトドアなど）に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

ディスク挿入口に手や指を入れない

禁　止

手や指を挟まれるなど、けがの原因になることがあります。
特に、乳幼児にご注意ください。

故障かな!?

	症状	原因と処置
電源・共通	電源が入らない	● 車のエンジンをかけてください。(「ACC ON」でも可) ● 各コードの接続を確認してください。 ● 本機、または接続した機器のヒューズが切れている。 → お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」にヒューズの交換をご依頼ください。
	音が出ない	● 音量を上げてください。 ● ミュートされている。→ミュートを解除してください。 ● 結露している。→しばらく放置してから使用してください。 ● 各コードの接続を確認してください。
	雑音が出る	● 携帯電話などを本機から離してください。 ● アースコードがしっかりと車体の金属部に接続されているか確認してください。
ラジオ	ノイズが多い	● ラジオアンテナが十分に伸びているか確認してください。 ● オートアンテナコントロールコードの接続を確認してください。 ● 放送局の電波が弱い。 →放送局を変えてください。 ● ラジオアンテナの基台部分がしっかりと車体に取り付けられているか (アース接続) を確認してください。
CD	ディスクを入れても音が出ない、または自動的に排出される (再生できない)	● ディスクを正しい面で入れなおしてください。 ● ディスクの汚れをクリーニングしてください。 ● 音楽用の (録音されている) ディスクをご使用ください。
	音が悪い（音がとぶ）	● ディスクの汚れをクリーニングしてください。 ● 本機の取り付けを確認してください。 →角度を30° 以下に調整し、振動しないようにしっかりと取り付けてください。
	CDテキストが表示されない	● 本機は、CDテキストに対応しておりません。
	再生経過時間は表示されているが、音が出ない	● 本機は、CD-DAのみに対応しています。他の形式のデータ(MP3やWMAなど)は再生できません。 ● ミックスモードのディスクの第1トラックを再生した。 (ミックスモードとは、第1トラックに音楽以外のデータ、第2トラック以降に音楽データが、1セッションで記録されているフォーマットです。) →第2トラック以降の音楽データを再生してください。

	症状	原因と処置
音質調整	左右前後のいずれかの音が出ない	● 左右前後のバランスを調整してください。 ● 各コードの接続を確認してください。
	外部アンプから音が出ない	● 各コードの接続を確認してください。 ● フェダーの音量バランスを確認してください。
	ステレオのとき、左右の音が逆になる	● スピーカーコードの接続を確認してください。

こんな表示が出たときは

表示	原因と処置
E1 E2	● ディスクが汚れている、キズが付いている、裏返しになっている。 ● 再生できないディスク（音楽用ではない、録音されていないなど）を使用している。 →ディスクを確認してください。
E3	● 何らかの動作エラー（メカエラー）が起きた。 →イジェクトボタンを押しても動作しない場合は、車のエンジンをかけなおすか、またはACC（車のアクセサリ電源）を入れなおしてください。それでも正常に戻らない場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」に修理をご依頼ください。

こんなときは故障ではありません

結露について

● 雨の日やヒーターを入れた直後に再生すると、本機内部（CDプレーヤー）の光学系のレンズやディスクに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、ディスクを取り出して1時間ほど放置し、自然に露がとれるのをお待ちください。

万一、故障や異常が起こったら

すぐに電源を切ってください。
安全を確認してから電源の接続をはずし、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」 に修理をご依頼ください。
お客様による修理は、絶対におやめください。

アフターサービスについて

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申しつけください。

転居や移動先などでお困りの場合は…

- 修理は、お近くの「サービス相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、本製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年保有しています。

お客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル **0120-50-8729**（ゴー パナソニック）
■ 一般電話（携帯電話・PHSなど）045-929-1265
FAX **045-938-1573**

受付 9:00～17:00（土･日･祝日･弊社休日を除く）
※一般電話、およびFAXをご利用の際の通信料は、お客様のご負担となります。

修理を依頼されるとき

「故障かな!?」の項目に従ってご確認のあと、なおらないときは、まず電源を切り、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきます。恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
- **保証期間が過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品　名	CDサウンドステーション
品　番	**CQ-C1001D**
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

松下電器産業株式会社および松下グループ関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記のとおり、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、ナショナル パナソニック製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

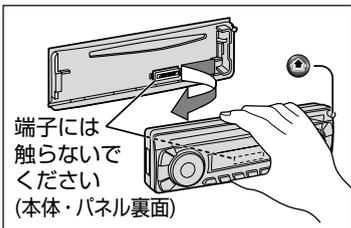
各部のなまえとはたらき

パネルの脱着

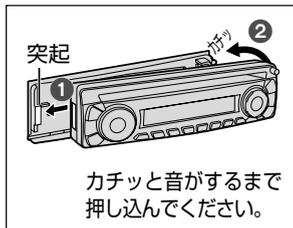
車から離れるときにパネルを取りはずせるので、盗難防止に効果があります。（デタッチャブルフェイス）

■ 取りはずしかた

❶ 本機の電源を切る

❷ (リリース)を押して、取りはずす

■ 取り付けかた

❶ 左端を突起部に差し込む

❷ 右側をはめ込む

■ 取りはずしたパネルは

- 破損しないように乾いた柔らかい布で包むなどして保管してください。
- 衝撃を与える、落とすなどしないでください。
- 気温が上がるダッシュボードやその周辺に、置かないでください。
- 故障の原因になりますので、水をかけたり、湿気の多いところに置かないでください。（パネルは防水されていません。）

お願い ● 本体とパネル裏面の接点(端子)には触らないでください。電気的な接触不良を起こす原因になります。汚れやゴミなどがついたときは、清潔な乾いた布で拭いてください。

準備・基本操作

準 備 車のエンジンをかける (ACC ONでも可)

電源を入れる/切る

ON （入） ： 押す
OFF （切） ： 1秒以上押す

- 電源が切れているときにCDを入れると電源が入り、再生が始まります。

時計を調整する

❶ DISP を押して、時計表示に切り替える

AdJ　時計が未調整のときは、「AdJ」と表示

❷ DISP を2秒以上押し、

0:00

◀ または ▶ で時間を調整する

8:00

❸ DISP を押して、

8:00

◀ または ▶ で分を調整する

8:15

❹ DISP を押して、決定する

8:15

- 時計調整モードが解除され、時計が動き始めます。

お知らせ

- 時計は24時間表示です。
- 電源が入っていないときは調整できません。

音源（ソース）を切り替える

電源が入っているときに SRC を押す

- 押すごとに切り替わります。
（例：CDが入っている場合）

82.5 FM 14 → ラジオ
007 1 → CD
AU In → AUX（外部音声入力）

音量を調整する

SEL 大 / 押す / 小

UOL 18

初期設定：18
調整範囲：0～40

表示を切り替える

DISP を押す

- 押すごとに切り替わります。

電源が入っているとき
通常表示（例：ラジオ） 82.5 FM 14 ↔ 時計 18:05 FM 14

電源が入っていないとき
時計を表示しない ↔ 時計 18:05

一時的に消音する（ミュート）

MUTE を押す

点灯

82.5 FM 14

- 再度押すと、解除されます。

ラジオを聞く

● AMステレオには対応していません。

ST：FM ステレオ放送を受信したときに点灯

❶ SRC を押して、ラジオモードにする

❷ BAND を押して、バンドを選ぶ

FM1→FM2→AM1→AM2

❸ （または）を押して、周波数を選ぶ

自動選局(シーク)したいときは…
0.5秒以上押してはなす
● 放送局を受信すると、止まります。

放送局を記憶させる

バンド（FM1、FM2、AM1、AM2）ごとに、放送局を最大6局まで記憶させることができます。

放送局を一つずつ記憶させる（プリセットメモリー）

❶ バンドと周波数を選ぶ（☞上記）

❷ 1 〜 6 を表示が一回点滅するまで押す

● 受信している放送局が、選んだボタンに上書きされ、記憶されます。

プリセット番号4に記憶させた場合

表示が1回点滅

放送局を自動で探し、記憶させる（オートプリセットメモリー）

❶ バンドを選ぶ（☞上記）

❷ BAND を2秒以上押す

● 受信状態のよい放送局が、プリセット番号1から順に上書きされ、記憶されます。

終了すると
● 記憶された放送局が約5秒ずつスキャンされます。

スキャンを止めるには
1 〜 6 を押して放送局を選んでください。

記憶された放送局を呼び出す（プリセット呼び出し）

❶ バンドを選ぶ（☞上記）

❷ 1 〜 6 を押す

● 記憶されている放送局を受信します。

CDを聞く

● 通常の音楽CDおよび音楽CDの形式 (CD-DA)で記録されたCD-R/RWのみ再生できます。

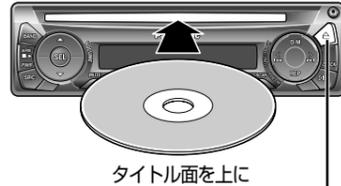
曲の再生経過時間　曲番号

DISC：CDが入っているときに点灯

CDが入っているときに
SRC を押して、CDモードにする

CDを入れる/取り出す

CDを入れる前に、DISC が点灯していないことを確認してください。
8 cm CDは再生できません。
（シングルアダプターも使用できません。）

タイトル面を上に

CDを入れる
● 再生が始まります。

CDを取り出すには
⏏ を押す
● CDが出てくる動作が完全に止まってから取り出してください。

曲を選ぶ

（または）を押す

早戻し/早送りする

（または）を0.5秒以上押し続ける
● 押し続けている間、早戻し/早送りされます。

曲を番号で選び再生する（ダイレクト選択）

1曲目〜6曲目　：1 〜 6 を押す

7曲目〜12曲目：1 〜 6 を2秒以上押す

● 選んだ曲から再生されます。
● 13曲以降をダイレクト選択することはできません。

一時停止する（ポーズ）

BAND を押す

表示が点滅

● 再度押すと、解除されます。

繰り返し聞く（リピート）

REP を押す

● 再生中の曲を繰り返し再生します。
● 再度押すと、解除されます。

順不同に聞く（ランダム）

REP を2秒以上押す

R► 点灯

● 各曲を順不同に再生します。
● 再度2秒以上押すと、解除されます。

曲を探す（スキャン）

SQ/SCAN を2秒以上押す

再生中の曲番号が点滅

● 各曲を約10秒ずつ再生します。
● 再度2秒以上押すと、解除されます。
● 1周すると解除され、もとの曲の先頭に戻ります。

他の機器の音声を聞く（AUX）

準備　本機の外部音声入力コード（AUX-IN）に、他の機器（インダッシュTVなど）の音声出力端子を接続してください。

SRC を押して、AUXモードにする

● 本機の外部音声入力コード（AUX-IN）に接続した機器の音声が、本機に接続したスピーカーから出力されます。
● 操作のしかたは、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

ダイレクトメモリーを使う（D·M）

電源が切れているときでも、どのモードからでも、ボタン1つで交通情報を受信できます。
また、お好きな放送局を記憶させることもできます。（**初期設定**：AM 1620 kHz）

D·M を押して、ダイレクトメモリーに記憶された放送局を呼び出す

● 記憶されている放送局を受信します。
● 再度押すと、もとのソースまたは電源OFFに戻ります。

D·M 点灯

ダイレクトメモリーに放送局を記憶させる

❶ バンドと周波数を選ぶ（☞ラジオを聞く）

❷ D·M を2秒以上押す

● 受信している放送局がダイレクトメモリーに記憶されます。

表示が1回点滅

（お知らせ）　以下の操作をすると、ダイレクトメモリーは解除され、もとのソースに戻ります。
● 電源またはACC（車のアクセサリ電源）をOFFにしたあと、再度ONにしたとき
● ソースを切り替えたとき

音質を調整する

❶ SEL 押して項目を選ぶ

❷ SEL 押して調整する（△ でも可）

（お知らせ）
● 約5秒間（ボリュームは約2秒間）何も操作しないと、音質調整モードが解除されます。

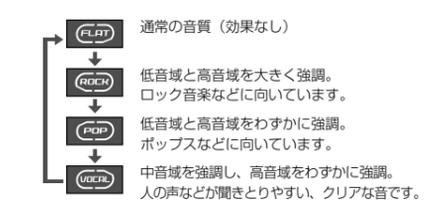
通常表示（例：CD）

				初期設定	調整範囲
音量を調整する（ボリューム）	VOL 18	VOL 20	● 通常モードでも調整できます。	VOL 18	0〜40
低音域のレベルを調整する（バス）	BAS 0	BAS 6	「+」：強調される 「−」：低減される	BAS 0 dB	−12 dB〜+12 dB（2 dBごと）
高音域のレベルを調整する（トレブル）	TRE 0	TRE 6	「+」：強調される 「−」：低減される	TRE 0 dB	−12 dB〜+12 dB（2 dBごと）
左右のスピーカーの音量バランスを調整する（バランス）	BAL 0	BAL R 15	L (LEFT)：左側が強調される R (RIGHT)：右側が強調される	BAL 0（センター）	L/R 各15ステップ
前後のスピーカーの音量バランスを調整する（フェダー）	FAd 0	FAd F 15	F (FRONT)：前方が強調される R (REAR)：後方が強調される	FAD 0（センター）	F/R 各15ステップ

音質効果を楽しむ（SQ：サウンドクオリティー）

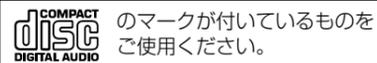
お聞きの音楽の種類などに応じて、お好みの音質効果を4種類から選んで楽しめます。
（初期設定：FLAT）

SQ/SCAN を押して切り替える
● 押すごとに切り替わります。

FLAT：通常の音質（効果なし）
ROCK：低音域と高音域を大きく強調。ロック音楽などに向いています。
POP：低音域と高音域をわずかに強調。ポップスなどに向いています。
VOCAL：中音域を強調し、高音域をわずかに強調。人の声などが聞きとりやすい、クリアな音です。

（お知らせ）
● 音量/バス/トレブルの設定によっては、SQを選んだときに音が歪むことがあります。そのときは音量/バス/トレブルを再調整してください。

ディスクの取り扱い

CD(コンパクトディスク)

のマークが付いているものをご使用ください。

持ちかた

記録面に手を触れないように持ってください。

CDが汚れたら

水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭いてください。

- 回転する方向に拭かないでください。
- ベンジン、シンナー、レコードクリーナー、静電防止剤を使用しないでください。

CD-R/RWディスクのご使用について

CD-DA以外のデータ(MP3やWMAなど)は、再生できません。

- CDレコーダー(CD-R/RWドライブ)で記録したCD-R/RWディスクは、その特性・汚れ・指紋・キズなどにより、再生できない場合があります。
- CD-R/RWディスクは通常の音楽CDに比べ高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。
- CD-R/RWディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上の注意書きをよくお読みください。
- クローズセッションされていないCD-R/RWディスクは再生できません。

CDの保管について

長時間使用しないときは

- 必ず本機から取り出してください。
- ゴミ・ほこりなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

次のような場所に置かないでください

- 長時間直射日光のあたるところ（車のシート、ダッシュボードの上など）
- 暖房器具の熱が直接あたるところ
- 湿気やゴミ・ほこりの多いところ
- 腐食性のある外気にふれるところ
- 強い静電気・電気的ノイズの発生しやすいところ

コピーコントロールCDについて

パソコンなどによるコピー防止を目的にコピーコントロールが施された音楽CDが発売されています。これは、現状のCD規格に合致しないディスクであり、本機での再生は保証いたしかねます。
通常のCDを用いた再生には支障がなく、コピーコントロールCDを用いた再生にのみ支障がある場合は、コピーコントロールCDの発売元にお問い合わせください。

下記のようなディスクは使用しないでください。本機の内部で引っ掛かるなどして、ディスクの破損および本機の故障の原因になります。

■ 円形以外の特殊な形状のディスク

ハート形

三角形

カード型

■ ラベルなどを貼り付けたディスク

シールやテープ、のりが付着している

プリンターで作成したラベル

プロテクトフィルム、保護シート

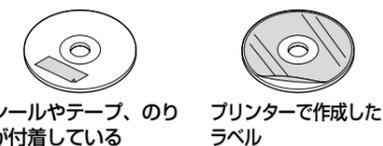
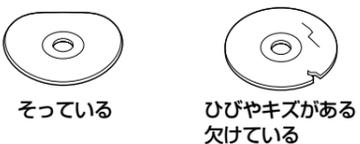
ディスクアクセサリー（スタビライザーなど）

■ 破損・変形したディスク

そっている

ひびやキズがある欠けている

■ 粗雑なディスク

バリがある

取り付け・配線の前に

■ **作業の順序**

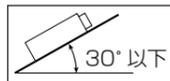
❶ バッテリーの⊖端子をはずす。
❷ 配線する。
他の機器と接続する場合は、各機器の説明書も併せてよくお読みのうえ、配線してください。
❸ 取り付ける。
❹ バッテリーの⊖端子を、もとに戻す。

配線・取り付けの作業時には、安全のため必ず手袋をご使用ください。

■ **取り付け部の寸法・角度の確認**

- センターコンソールの形状や寸法によって、取り付けられない場合があります。詳しくは、販売店にご相談ください。
- オーディオスペースがDINサイズまたは2DINサイズでない場合は、販売店にご相談ください。

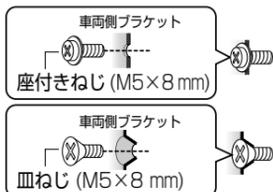
DINサイズ	(縦50 ㎜×横180 ㎜)
2DINサイズ	(縦100 ㎜×横180 ㎜)

- 水平に対して、30° 以下の角度で取り付けてください。

取り付けかた

- 年式、車種、グレードにより、別売の専用キットが必要な場合があります。詳しくは販売店にご相談ください。

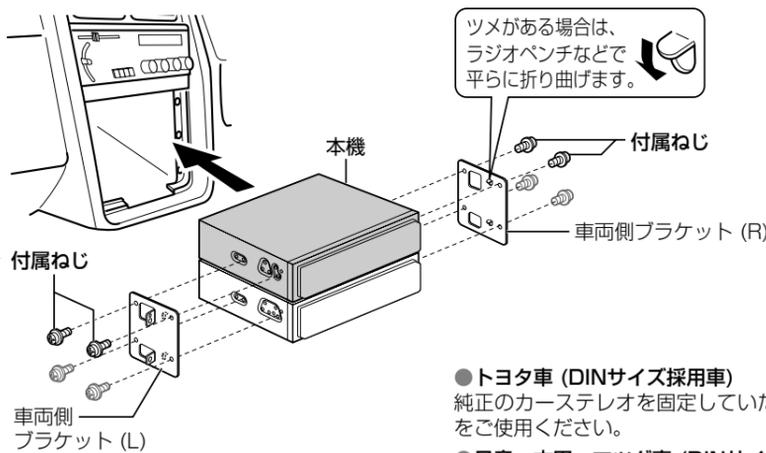
お願い

- 故障の原因になりますので、長さの異なるねじを使用しないでください。

- 付属のねじは、車両側取り付け金具（車両側ブラケット）の穴形状に合わせて選んでください。

お知らせ

- 従来の当社製品（CQ-C1100D、CQ-DPX153Dなど）に付属されていたブラケット取り付け補強用のスペーサーと両面テープは、本製品の取り付けには不要です。（取り付け穴の形状変更により、本製品に付属していません。）

使用する取り付け金具（ブラケット）は、車両メーカーや車種ごとに形状や固定方法が異なります。詳しくは、販売店にご相談ください。

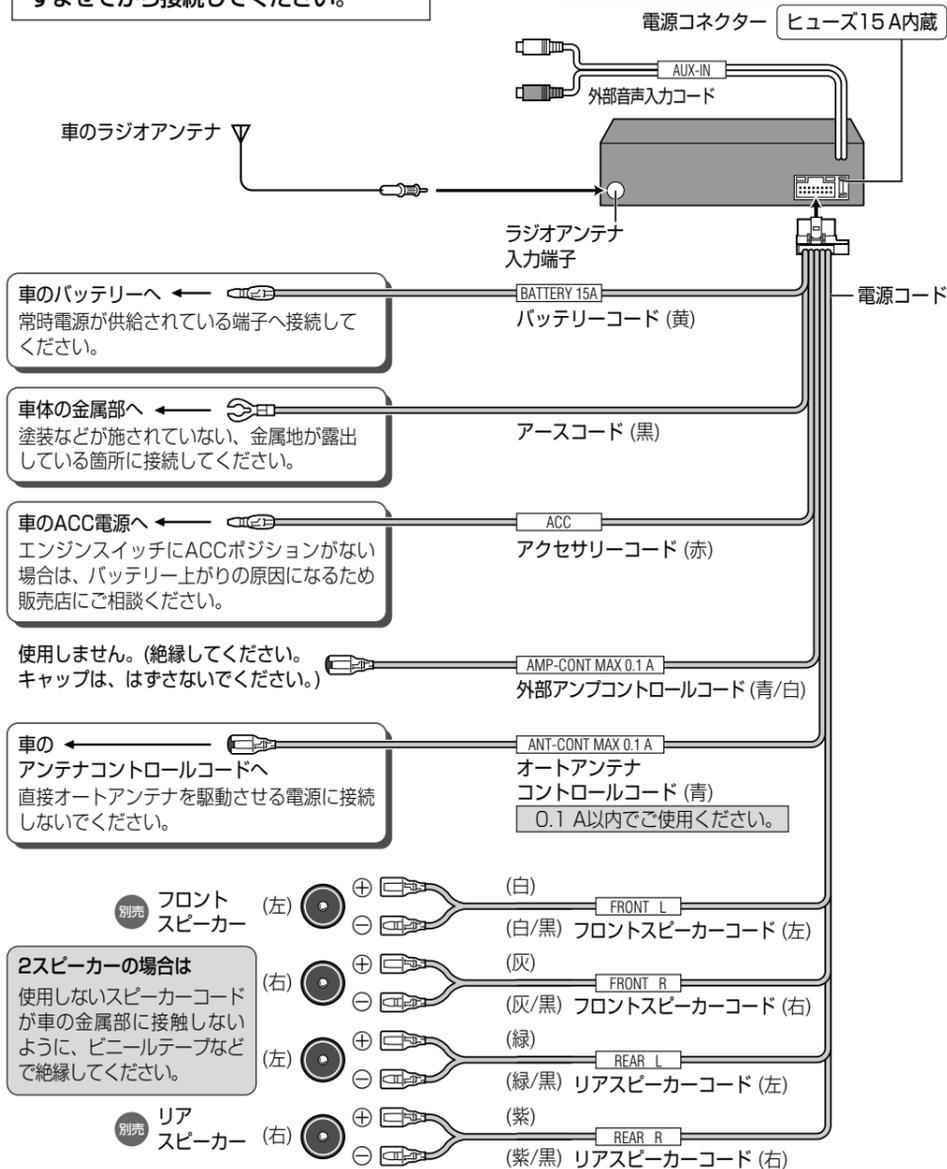
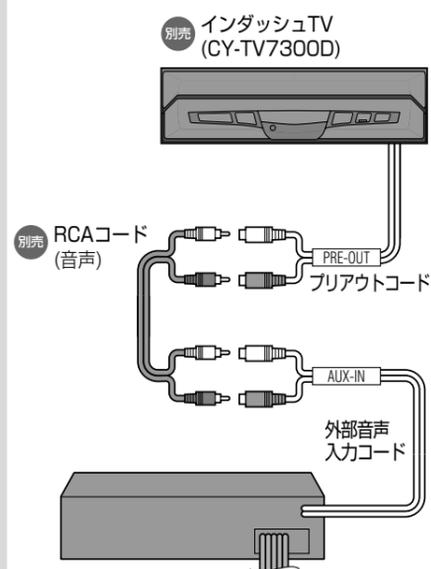
取 付 例

インダッシュテレビと組み合わせる場合には、本機を下段に取り付けてください。

- **トヨタ車 (DINサイズ採用車)**
純正のカーステレオを固定していたブラケットをご使用ください。
- **日産・本田・マツダ車 (DINサイズ採用車)**
別売の車両メーカー別標準取り付けキット、または車種別の取り付けキットをご使用ください。
- **上記メーカー以外の車**
別売の専用取り付けキット、または汎用取り付けキットをご使用ください。

配線のしかた

- 別売の中継コードを使用すると、車両側と配線しやすくなります。詳しくは、販売店にご相談ください。

ショート事故防止のため、電源コードのコネクターは、必ず全ての配線をすませてから接続してください。

ヒューズが切れた場合は
お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」にヒューズの交換をご依頼ください。

システムアップする

お手入れのしかた

パネルが汚れたときは

- 電源を切ってから、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- ベンジンやシンナー類を使うとケースや塗装が変質しますので、使用しないでください。

- 化学ぞうきんをご使用になる場合は、使用上の注意をよく読み、必ずお守りください。